

受賞団体の活動の概要

< 農林水産大臣賞 > 総合的に優れた取組

トキの野生復帰連絡協議会（新潟県 佐渡市）

トキの野生復帰を目指し、各加盟団体の活動や、行政、教育、観光、物流等の情報を共有し、活動目標を設定することにより、各加盟団体等の協同による効果的な活動を展開。トキの餌場確保のための水田ビオトープの整備や餌生物生息マップの作成、環境保全型農業の研修、トキ米の販路拡大、島内外の小中学校の環境教育、活動情報の発信など、幅広い取組を実施。



餌場となる水田の整備



休耕田を利用したビオトープ

< 農村振興局長賞 > 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組

水土里ネット胆沢平野（岩手県水沢市、胆沢町、前沢町、金ヶ崎町）

農家・非農家を問わず、水路に対する住民の意識を高め、水路の維持管理への参加を促進することを基本的な目標とし、水路改修事業への住民参加、ワークショップによる意識啓発等を通じ、住民参加による維持管理活動の定着を進め、地域の共有財産である水路や地域環境を維持・保全。



地域住民で検討した環境配慮水路



アドプト・プログラム協定（里親制度）による保全活動

< 自然環境局長賞 > - 自然生態系の保全・再生に向けた取組 -

メダカ里親の会（栃木県 宇都宮市）

現場主義をモットーに、県内のメダカ生息地などのデータ蓄積や、自治体への情報提供、メダカ生息地の保全策の提案と保護のためのガイドラインの作成、保全活動を行う住民組織の立上げと支援、田んぼの生き物図鑑の出版など、農村地域の生物多様性を確保するための実践的な活動を展開。



手作りの小川



田んぼの生きもの
の図鑑

<朝日新聞社賞> - 活動内容が幅広く、社会的貢献度が高い取組 -

つのかわさと

角川里の自然環境学校（山形県 戸沢村）

集落住民主導により、地域の自然環境・文化を学ぶ“地元学”からスタートし、山の学校、川の学校、食の教室、農の学校、ものづくり塾、民話塾といった6部門を中心に活動を展開。子ども達への学習活動、新たな産品開発や環境保全型農業による地域経済活性化、グリーンツーリズム・エコツーリズムによる都市住民の受入事業の展開など、農山村の地域活動を先駆的に実施。



ピオトープ作り



炭焼き窯の復活

<子どもと生きもの賞> - 子供たちの環境教育への取組 -

NPO法人 自然回復を試みる会 ピオトープ孟子（和歌山県 海南市）

耕作放棄地にトンボ池やピオトープを造り、昆虫類や植物の調査・研究、自然と人間が共生した保全活動を展開して地域の自然回復を試みるとともに、文化と自然愛護の思想の普及・高揚を図りながら、自然環境を守る後継者を育成。



トンボ取り大会



里山フェスタ

<パートナーシップ賞> - 多様な主体が連携した取組 -

日高村グラウンドワーク推進協議会（高知県 日高村）

豊かな自然が残る県下最大級の内陸型湿地である日下川調整池周辺において、メダカ池、遊歩道の整備や石積み水路への改修など、ボランティアによる環境改善活動の実施や子供自然体験教室を開催するとともに、農家と連携してメダカが泳ぐ水田で収穫した減農薬米（メダカ米）を販売。



せせらぎの小川づくり



メダカ観察会

<オーライ！ニッポン賞> - 都市と農村の共生・対流によって実施している取組 -

NPO法人グラウンドワーク^{にしかくら}西神楽（北海道 旭川市）

美しい田園地域の自然環境の保全と改善を目指し、活動拠点「共有地の丘」や田んぼの生物調査、地域の活性化のためのシンポジウム、小中学校の環境教育へのサポートを行うとともに、手作りパークゴルフ場や収穫祭、朝市などにより、都市住民や消費者との交流を推進。



活動拠点「共有地の丘」



手作りパークゴルフ場

<ムラと自然の再生賞> - 人と自然のつながりで自主・自立を目指す先駆的取組 -

柳谷^{やなぎだに}自治公民館（鹿児島県 串良町）

家畜排泄物への対応と家庭生ゴミの堆肥化促進を地域の課題と位置付け、土着菌を活用して、公民館活動により堆肥化等に取り組む。手作りの土着菌センターの建設、発酵堆肥を利用した焼酎用サツマイモの栽培、焼酎の製造・販売などを展開しながら、集落の福祉・教育等に還元。



集落の子どもたちの寺子屋



サツマイモ栽培

受賞団体の位置図

